

(様式1・小学校用①)

# 令和5年度 学校評価報告

草加市立両新田小学校  
(令和6年2月9日作成)

<b>1 学校教育目標</b> 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子	
<b>2 重点目標・努力目標</b> (1) 「米津最適な学び」「協働的な学びの充実」を中心とした授業改善 (2) 幼保小中を一貫した教育の推進 (3) 安全・安心で開かれた学校づくり (4) 生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実 (5) お互いを思いやることのできる豊かな心の育成 (6) 健康でたくましい児童の育成	<b>3 前年度の成果と課題</b> 成果 ○研修主任を中心に計画的、継続的に研究授業を行うことができた。 ○学校HPを活用し、教育活動を保護者や地域の方々に理解してもらえた。 ○生徒指導主任を中心に組織的な生徒指導対応をすることができた。 課題 ●学力向上、主に基礎基本の定着とそれを活用する能力の育成。 ●学習規律や生活規律の確立。 ●「個別最適な学び」「協働的な学びの充実」を中心とした授業改善

<b>4 評価表</b> ※評価基準 [A: 十分達成している B: おおむね達成している C: やや不十分である D: 不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○月・木曜日の特別日課になり、働きやすくなった。 ○予算を工夫してよりよく活用されている。 ●企画委員会の時間が長くなっている。改善する必要がある。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○研修主任を中心として、授業研究会は質が高い内容となった。研究発表会も成功した。 ●自分の考えをもつことはできるが、上手に発表することができない。授業内容を再検討していく
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	B	○学校保健計画が充実している。 ○児童のけが等発生時は、管理職を含め迅速に対応できてよかった。 ●無言清掃を意識する児童は増えたが、まだ集中して清掃に取り組めていない児童がいる。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○個人情報管理規定に基づき、対応できている。 ○備品設備は整理整頓できており、活用しやすい。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○日々の児童の様子を随時更新し、閲覧数も増えた。 ○学校運営協議会を6回実施し、協議会よりも2回発信した。

⑥幼保小中を一貫した教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子ども像の共有</li> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成</li> <li>・一貫教育推進のための組織づくり</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年2回幼保小中連絡協議会を開催し、共通理解を深めることができた。</li> <li>○中学校区研究発表会を協働で成功させたことは大きな成果である。</li> <li>●中学校との連携は強いが、幼保との連携が少し希薄であった。</li> </ul>
--------------	---	---	---

(様式1・小学校用②)

草加市立両新田小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施</li> <li>・教育計画の作成</li> <li>・教育活動の評価</li> <li>・目標、方針の周知</li> <li>・授業時数の配当、確保</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝会や集会が計画的に行われ、児童の意識を高められたのがよかった。</li> <li>●「今年度の努力点」を明確にして教育活動を行いことができなかつた。</li> </ul>
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・外部人材の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の流れを明示した授業を実践できた。</li> <li>●「個別最適な学び」「協働的な学習の充実」を実践してきたが、まだ不十分。</li> </ul>
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の作成</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・道徳的実践力の育成</li> <li>・家庭、地域社会との連携</li> <li>・いのちの教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の授業研究会の内容がよく、授業改善に役立った。</li> <li>●児童の心情が十分育っているとはいえず、発問等の工夫が必要である。</li> </ul>
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価、評定の工夫</li> <li>・各教科、道徳教育との関連</li> <li>・中学校との連携</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTや教材・教具を活用し、児童の興味関心を高める授業を行うことができた。</li> </ul>
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・学級活動、学級経営</li> <li>・学校行事</li> <li>・児童会活動</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○望ましい集団活動が行われるよう全体で指導できている。</li> <li>●児童の自分の仕事に対する意識改善を行うことが重要である。</li> </ul>
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・評価の工夫</li> <li>・地域の人材・物的資源の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5・6年生の調べ学習が充実していた。</li> <li>●地域の人材活用、施設等の有効活用の検討が必要。</li> </ul>
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な生徒指導</li> <li>・問題行動への対処</li> <li>・教育相談、児童理解</li> <li>・いじめ防止対策</li> <li>・保護者、地域、諸機関との連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○粘り強く指導を行った結果が授業態度等に表れている。</li> <li>●規律が身につけていない児童に対しての指導方法を改善すべきである。</li> </ul>
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の立案</li> <li>・指導内容の充実</li> <li>・中学校との連携</li> <li>・啓発的経験の充実</li> <li>・家庭、地域との連携強化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「挨拶運動」で中学校と連携する機会を設け、進路への興味関心を高めた。</li> <li>●乗り入れ授業を充実させ、児童の意欲向上を図るべきである。</li> </ul>
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画、支援計画</li> <li>・指導方法の工夫と改善</li> <li>・通常学級との交流</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・校内支援体制の整備</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援コーディネーターを中心に配慮を要する児童への指導を行うことができた。</li> <li>○通常学級との交流を積極的に行うことができた。</li> </ul>
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画、支援計画の作成</li> <li>・図書館補助員の活用</li> <li>・諸機関との連携</li> <li>・図書館の整備</li> <li>・図書館利用の工夫</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校司書と連携を図り、図書館経営を充実させることができた。</li> <li>○読み聞かせ等計画的に行い、児童の読書への興味関心を高めることができた。</li> </ul>

⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育計画の作成</li> <li>・校内研修の充実</li> <li>・ICT機器の積極的な活用</li> <li>・情報モラル教育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を活用して授業を展開することができた。</li> <li>●タブレットをどの授業でどう活用すべきか検討が必要である。</li> </ul>
⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の策定</li> <li>・各教科との関連</li> <li>・人権感覚の育成</li> <li>・校内研修の充実</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童会と連携して人権作文発表集会を開催し、人権意識の高揚を図れた。</li> <li>●日常的に人権に対する意識を高めさせることが課題である。</li> </ul>

(様式1・小学校用③)

草加市立 小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	学力向上	基礎学力の定着 授業規律の確立 個別最適な学び・協働的な学びの実践	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数科図画工作科の授業研修協議会を7回実施し、教職員の共通理解を図り、全校同一歩調で取組を着実に進め、指導の質が向上した。</li> <li>●自分の意見をうまく発表できない児童がまだ多い。改善が必要。</li> <li>●個別最適な学び、協働的な学びの実践を行っているが、改善点はまだまだ多い。</li> </ul>
	読書活動	計画的な図書館運営 読書活動推進の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせを計画的に行い、図書委員の児童も参加させ、内容の濃い読書活動を行うことができた。</li> <li>●昨年度より貸出冊数が伸びなかった。各学級で、意識して図書室に向かう習慣をつけるべきである。</li> </ul>
	学校応援団の取組	児童の安心・安全確保のための取組の充実 学習支援等の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心・安全連絡協議会を2回実施し、防犯ボランティア等の意見を集約し、児童の安全確保に活用することができた。</li> <li>○読み聞かせや家庭科の補助などボランティアを募り、学習活動の充実を図れた。</li> <li>●人材が減っており、十分活動できているとはいえない。人材バンク等を作成・活用しボランティアの人数を増やさなければならない。</li> </ul>

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 研修主任を中心に、算数科で3回、図画工作科で2回、道徳科で2回計7回の授業研究協議会を実施し、計画的、組織的に取り組むことができた。
- 生徒指導主任を中心に、生徒指導委員会を活性化させ積極的な生徒指導を行うことができた。
- 特別支援コーディネーターを中心に児童一人一人に寄り添った支援を行うことで、落ち着いて学習できる児童も増えてきた。
- 特別支援コーディネーターが、配慮を要する児童がいる担任に支援を行い、組織的にサポートすることができた。
- 児童の健康観察を密に行い、保護者にと連携して迅速に対応できたことがよかった。
- むし歯治療に特化し、フッ化物洗口開始や随時治療勧告することでむし歯治療率を向上させることができた。
- 各教育活動や児童の様子を頻繁に学校HPで発信され、教育活動が保護者や地域の方々にも理解されるようになってきている。閲覧数も向上した。

## 6 次年度の改善策

- 基礎基本の学力が定着しているとはいえない。自分の考えを上手に発表する力が乏しいことから、ペアや小グループでの話し合い活動を授業内に取り入れ、意見交換を頻繁に行わせる必要がある。
- 学習規律や生活規律の確立など昨年度と比較して向上しつつある。教師がいない場面でも、自主的に規律を守ることができる児童を育成していく。
- 既習事項の定着のため計算の反復練習、音読練習や読書など家庭での学習を確実に行わせるなど、家庭と連携して児童に取り組ませる必要がある。
- 縦割り活動などで他学年との交流を増やしていたが、お互いを思いやる言動ができない児童が多い。人権教育や道徳教育とあわせて心の育成を推進していく。
- 両新田中学校区が目指す子ども像の実現に向けて、学級経営を軸に研究し、望ましい人間関係を構築すべく計画的に取り組んでいく。
- 両新田中学校区で統一した学習規律・生活規律の徹底や家庭学習の充実、「個別最適な学び」「協働的な学びの充実」を中心とした授業改善を継続して行い、児童の基礎基本の学力の定着、既習学習の応用力向上を図る。